

平成 30 年度農高就農促進対策助成事業

事業主体名 徳之島高等学校

1 目的 農業に対する視野を広げるために、島内外の生産や流通現場の視察や実習を通して、将来の徳之島の農業を担う人材育成につなげる。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

(1) 島内視察研修の実施

食肉加工センターでは、豚のと殺の様子を視察した。生きていた豚がと殺され、各部位に解体される様子までを間近で見た。

スマート農業研修会においては、アシストスーツの体験で 30kg のコンテナを軽々と持ち上げるなど、新しい農業を徳之島でも学べることに驚きの表情を見せた。



食肉加工センター



アシストスーツ体験

(2) 島外視察研修の実施

沖永良部への視察研修を、今年度から実施した。キクラゲ生産農家と花き専門農協の2カ所を視察した。船での往復のため、約2時間の滞在の中であつたが充実した研修内容であつた。

生徒にとつても、近くの島でありながら徳之島ではほとんど見られない生産現場に刺激を受けた様子であつた。



キクラゲ生産農家



花き専門農協

(3) インターンシップの実施

10月に3日間、12月に2日間地域農家の協力のもと実施した。10月はバレイシヨの植え付けを中心に肉用牛や茶の管理などを学び、12月はサトウキビ農家でハーベスタでの収穫補助や果樹農家でのパッションフルーツの定植を体験した。学校での実習ではできない内容であることから、意欲的な取組を見せ委託農家からも好評価を得た。



茶の管理



サトウキビ収穫

3 今後の課題、取り組み

島外への視察研修を今年度より充実させることで、農業に対する視野を広げ、徳之島の農業に貢献できる人材育成に努めていきたい。